

## ■ 議題

---

今回の番組審議委員会は、12月17日（火）午前9時30分より『ヒッツ・モーニング・エアー』内で放送したコーナー「高山市社会福祉協議会だより<sup>※1</sup>」（ナビゲーター 中村よしこ）と、12月18日（水）午後1時15分より『ヒッツ・ヴォイス・オブ・ザ・コンパス』内で放送したコーナー「LOVE & PEACE of X'mas～愛と平和のクリスマス～<sup>※2</sup>」（ナビゲーター 亀山陽子）及び、12月20日（金）午前11時10分より『ヒッツ・デイリー・エクスプレス』内で放送したコーナー「LOVE & PEACE of X'mas～愛と平和のクリスマス～<sup>※2</sup>」（ナビゲーター 佐藤えり）を聴いて審議に入った。

### ※1 「高山市社会福祉協議会だより」

コーナー内容： 通常は「高山市社会福祉協議会」の事業やイベント・行事について紹介している。今回聴取していただいた回では、10月の「台風19号」で被害にあった栃木県に派遣された同協議会の職員に、被災地の状況などを伺った。（同協議会職員：辻ノ内様）

### ※2 「LOVE & PEACE of X'mas～愛と平和のクリスマス～」

コーナー内容： 地元の無料情報誌「月刊さるぼぼ」と「ヒッツFM」が世界の平和を願って合同企画しているコーナーで、メディアと企業・読者・リスナーが参画するもの。12月1日より約20日間に亘り、企業からのコメントとプレゼントを紹介。また、毎年テーマを設定しており、テーマに対するメッセージ・リクエストも併せて紹介。全番組内でコーナーの時間を設けているが、今回の審議会では、亀山ナビゲーター・佐藤ナビゲーターが放送した内容を聴取した。

## ■ 審議内容

---

会社側： 審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

大萱委員長： 只今、聴取した内容についてでもよいし、普段聴いている放送についてでもよいので、順次、意見をお願いしたい。

田中委員：「社会福祉協議会だより」は、職員の辻ノ内さんは、ナビゲーターでも無いのに関わらず、かなりハキハキとしゃべっている印象を受けた。コーナーの中身は内容が内容なので、あまりポップに話すのも難しいと思うが、全体的に「ちょっと硬いかな」という印象を受けた。せっかく現地に行った方に話を聞いているので、マニュアルとか、作業内容とかではなく現地の人と交わした言葉だとか、現地に行った感想などをもっと聴きたいと思った。

「愛と平和のクリスマス」について、亀山ナビゲーターはベテランで安定感もあるし、自身の話を交えながら滑らかに話をしている感じだった。佐藤ナビゲーターも丁寧に話し、1人でも多くのメッセージを読みたいという気持ちが伝わってきたので良かったと思う。なので「どちらが良い悪い」と言う話ではないと思うが、それぞれの年齢層のリスナーに聴き取りやすい、2人とも個性のあるナビゲーターで良いと思う。

大萱委員長：職員の辻ノ内さんは、何回か出演されているのか？

会社側：出演していない。また、基本的に原稿に忠実で、少し原稿に付け足しをしている。

大萱委員長：田中委員の意見にもあったが、中村ナビゲーターが質問した内容は、テレビで見ている内容に近いものがあると思う。なので、現場ではないとわからないところが聞けると良いと思った。

山田委員：「社会福祉協議会だより」は、非常に落ち着いた感じで声のトーンとか非常に聴きやすく、耳にも入ってくる感じだった。

「愛と平和のクリスマス」は、両ナビゲーターともすごく楽しそうにしゃべっていて、これはこれで非常に楽しんで聴くことができた。

大萱委員長：亀山ナビゲーターも佐藤ナビゲーターもベテランの域に入っていて、特に聞き苦しい点とかは全く無かったように思えた。

松川委員：「社会福祉協議会だより」は、災害の多かった年なので、コーナーの内容としては、丁度良い話が聞けたと思った。しかし、皆さんの意見のように、感想とか、具体的に実際行ってみると「こういう物が不足している」とか「こういう時のために蓄えておくと良いと思う」といった話があると、次に活かせるのかなと思った。

「愛と平和のクリスマス」について、このコーナーを聴いたことが無いが、曲がメインではないのか？メッセージがメインなのか？

会社側：特にメインは無い。企業紹介や、メッセージ、リクエスト曲も一緒に紹介すると、エフエムとしては、格好が付くというか、流れが良いと思った。

松川委員：聴いて「この構成はどうなのかな」と思った。順番から言うと、例えば、10分程度ならば2曲位音楽をかけて、曲と曲の間にメッセージを紹介するとかはどうなのかな。質問だが、クリスマスならクリスマスの頃のイベント情報など紹介するわけではなく、単にこのメッセージを読み上げているだけなのかな？

会社側：このコーナーについては、最初にスポンサーからプレゼントの協力を頂いて、企業紹介・コメントから始まり、その後、応募ハガキに書いてあるメッセージ、リクエストを紹介している。この流れを1週間程度紹介し、その後は、メッセージとリクエストのみを紹介するという構成になっている。

松川委員：メッセージを紹介した人にはプレゼントがあるのか？

会社側：プレゼントは用意して無い。メッセージは紹介のみで、当選者発表は別の時間で紹介している。

松川委員：それはコーナーのどこかで言っているのか？

会社側：そうです。告知等で紹介している。メッセージについてだが、ハガキの枚数が多い為、メッセージの内容を厳選して紹介している。メッセージのコメントが少ないハガキもあれば、メッセージの多いハガキもある為全部を紹介することは難しい。

松川委員：毎回、テーマは決まっているのか？

会社側：そうです。毎年、テーマを変えている。

松川委員：敢えて両ナビゲーターの「どっちが良いか、悪いか」というのは無いが、個人的には佐藤ナビゲーターのほうが聴きやすかった。亀山ナビゲーターのこともよく知っているが、聴いた中では少し早口になっている箇所があったから、佐藤ナビゲーターの方が聴きやすかった。

会社側： ナビゲーター全員が「愛と平和のクリスマス」のコーナーを紹介しているので、本来であれば全員の内容を聴取してもらおうと、各ナビゲーターの特徴が出て良いかと思った。しかし、時間の関係上や、最近、両ナビゲーターの内容を聴取してないので、敢えて二人の内容を聴いて頂いた。

大平委員： 「社会福祉協議会だより」は、良い意味でも、悪い意味でも、情報量がたくさんあったという感覚を受けた。良い意味では、苦勞して市民の皆さんに情報伝えたいっていう思いが伝わって良かった。しかし、聴き手の側の立場で、聴きながら頭の中を整理するという点では、次から次へと展開があったので、その辺りが、もう少し情報量を整理してもらおうともしっかり聴きやすいと思った。また、中村ナビゲーターは、途中で相の手を入れていたのは、文章が長くなりそうなところで、良いタイミングで相の手を入れてくれていたのは「さすがだ」と思った。全体としては、皆さんの意見と同じになるが、文章の中の「メリハリ」をもう少しつけてもらい、最後に市民の人に伝えたいことや、現場で感じたことを「ドン」と言う、花火を打ち上げるのではないが、インパクトがあるような構成にしてもらおうと、聴くほうも頭に残ると思う。

「愛と平和のクリスマス」は、両ナビゲーターとも慣れていて、雑談を入れる余裕もあったことは、聴きやすい雰囲気を作っていて「さすがだな」と思った。少し気になったのは、佐藤ナビゲーターのしゃべっている時、バックで流れている BGM のトランペットの音が少し大きいかなど思った。この BGM の大きさが、午前 11 時という時間帯に合うのかもしれないが、少し聴き取り難いと感じた。質問だが「愛と平和のクリスマスのプレゼントに 600 通の応募があった」ということだが、普段のプレゼント企画は、大体、これくらいの応募があるのか？クリスマスだからこれだけの応募があるのか？

会社側： 地元の情報誌「月刊さるぼぼ」との合同企画なので、当局ヒッツ FM だけではなく「月刊さるぼぼ」の影響力も多々ある為、毎年多い。最初、始めた頃は、1000 通を超える応募数が来たこともあった。定着してからは少なくなってきたが、それでも 600 通を超える応募総数が来るので、ヒッツ FM が単独でやるよりは 10 倍以上応募が多いと思う。なので、お互いこの時期に合同でやったほうが応募も多いので、毎年やっているし、そのおかげで 19 年も続いたと思う。

大萱委員長： どうしても限られた時間でやっていることなので、すべて紹介することは難しいと思うが「これは絶対言いたい」というのが整理しきれないと、早口になってくることは私自身も経験がある。「ラジオ」というのは耳で聴くだけなので、早口でしゃべられると聴いているほうは、ついていけなくなると思う。あと、共同企画は大変いいことなので、どんどん続けて欲しいと思う。

林委員： 「社会福祉協議会だより」は、10分というコーナーで、予め原稿を揃えて質問の項目が5~6つ位あり進行していくと思うが、リスナーにとっては「この項目を聞きます」というのが分からない状態で聴くわけだから「どこに重点を置いて聴けばいいのかな」と考えた時、これだけ内容が多く、事務的に進行していくと、最後に何が印象に残ったかがわからなくなり、最初のやりとりの記憶が薄れてくこともあると思う。私が聴きたかったのは、実際に現地に行って被災された方との会話で、原稿のみならず、アドリブが入ると意識を集中して聴けたのかなという感想を持った。

「愛と平和のクリスマス」について、亀山ナビゲーターと佐藤ナビゲーターを聴き比べて「どっちがどうかな」と考えると、私も佐藤ナビゲーターのほう聴きやすいというか、耳に入ってきた。亀山ナビゲーターが紹介していたお子さんの話題はすごくほっこりしていたし、自身のエピソードなんかも話していてすごく聴きやすかったが、3つ目位の紹介の時、登場人物がよく分からなかったし、少し聴き辛かったところがあった。佐藤ナビゲーターの良いなと思ったのは、ラジオネームを繰り返して紹介していた。最初に紹介して、メッセージを紹介した後もラジオネームを紹介していた。ラジオネームを2回も紹介することは、すごく嬉しいことじゃないかなと思った。あとテンポも良かったので聴きやすかった。

大萱委員長： メッセージは各ナビゲーターが自分でチョイスをするのか？

会社側： そうだ。

大萱委員長： 選んだ物は2度と選ばれないようにしているのか？

会社側： 個人情報も入っているので、シュレッダーにかける。

大萱委員長： 別のナビゲーターが同じ物を選ぶということは、無いのかな？

会社側： 戻すことは無い。ハガキのコピーが「月刊さるぼぼ」側から送られ、私（山下）が裁断して、仕分けをして1つの箱で管理して、各自ナビゲーターに選んでもらうシステムだ。紹介が終われば、シュレッダーかけるので重複することは無いと思う。

大萱委員長： メッセージに関してはあくまでもヒッツ FM だけなのか？「月刊さるぼぼ」は関係ないのか？

会社側： 関係は無いが「月刊さるぼぼ」でも印象に残ったメッセージは、来月の「月刊さるぼぼ」に幾つか掲載すると思う。

大萱委員長： システムが良くわかった。今回、共通した意見が多かったと思うが、また番組に反映してもらいたい。その他、通常番組についての意見、来年に向けて「こんなことはどうなんだ」というような意見があればと思うが。雪はこの前少し降った程度だが、油断はできない。冬の交通情報はどうなっているのか？

会社側： チェーン規制（←正しくは冬用タイヤ規制）、高速道路のチェーン規制の情報や、高山国道工事事務所から、峠の情報、中部縦貫自動車道の情報が、朝、届くので紹介している。特段、雪が無い状況なので、今のところは大きな問題は無いと思う。

大萱委員長： 道路に雪が無いのはありがたいが、山も雪が少ない状況なので、スキー場情報はどうなのか？

会社側： 先日（12月20日）から放送している。しかし、ほおのき平スキー場の現在の積雪量が20センチで「一部滑走可能」という、非常に雪が少ない状況だ。また、他の飛騨エリアのスキー場は、全てオープンが延期になっている。今週末、一応オープン予定だが年内は難しいと思う。

大萱委員長： 自然相手なので、何が起こるか分からない。気を緩めることなくよろしくお願ひしたい。

会社側： 貴重な意見を頂き感謝している。番組向上に繋げていきたいと思う。

■ 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

---

令和元年 12 月 24 日（火） 番組審議委員会の席上で説明

■ その他の参考事項

---

次回開催日 令和 2 年 3 月下旬

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）